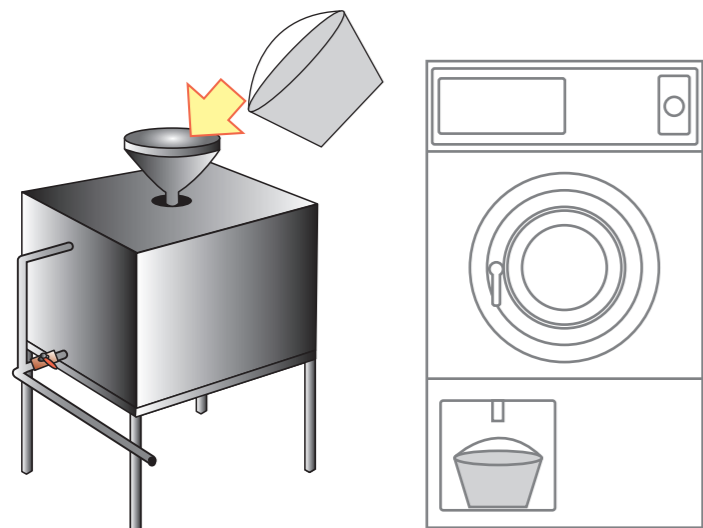


回収乾燥機の台数や使用頻度に応じて選べる3タイプ。



オリジナルタイプ



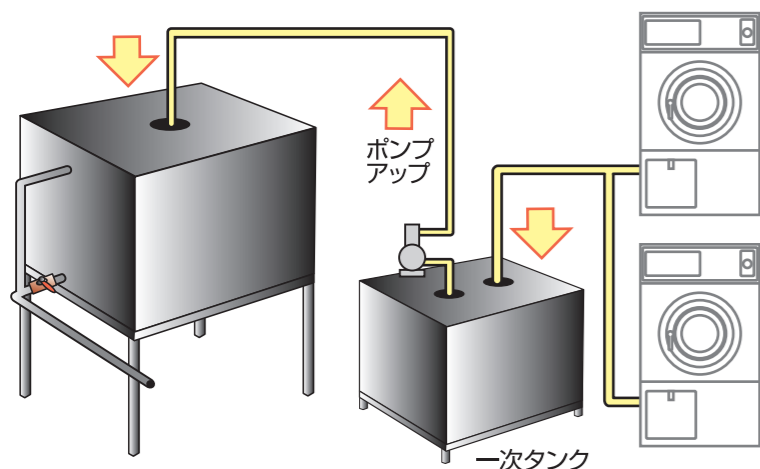
回収乾燥機の液受けバケツに入った回収液を本体上部より投入します。

機器本体の配管をベースタンクにつなぎ、1日に1~2回コックを開くことで自然落下により液を戻します。

●外形寸法 : W300×D400×H500(本体のみ)
(mm) W300×D400×H1000(架台含む)



自動吸引タイプ (回収乾燥機を複数台ご利用の方におすすめ)



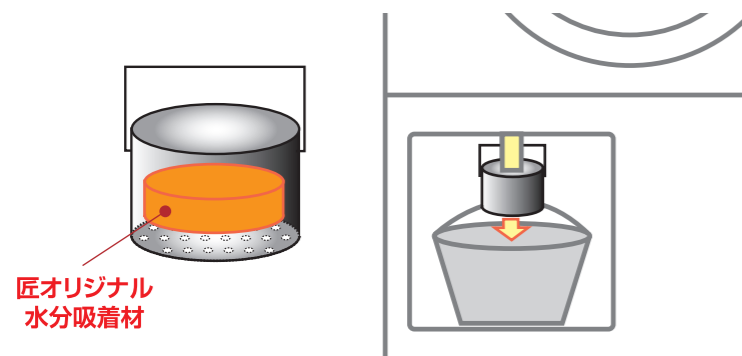
回収乾燥機から直接、一次タンクに液を溜め、自動ポンプにて本体へ液を送ります。

機器本体の配管をベースタンクにつなぎ、1日に1~2回コックを開くことで自然落下により液を戻します。

●外形寸法 : W300×D400×H500(本体のみ)
(mm) W300×D400×H1000(架台含む)
W300×D300×H330(一次タンク)



簡易タイプ (回収乾燥機の使用頻度が少ない方におすすめ)



回収乾燥機の液受けバケツの上に当容器を設置することで、当社オリジナルの吸着材で水分を除去します。

●外形寸法 : 直径120×H130
(mm)

溶剤に含まれている水分を徹底除去。

匠システムオリジナル水分分離機

手間いらず

生産量
アップ

経費削減

品質アップ

溶剤管理における「水」の管理は利益と品質に貢献します。



株式会社 匠システム

TEL.06-7500-7501
住所:大阪市阿倍野区桃ヶ池町1丁目11-6

◎詳しくは、ホームページをご覧ください。

匠システム 溶剤

検索



株式会社 匠システム

<http://takumi-x.net/>

回収乾燥機はコスト低減に非常に効果的です。 ただ、回収液の管理を怠ると品質低下や利益低減につながります。

回収乾燥機を使用することで起きる問題点



溶剤コストが高騰するなか、溶剤回収が可能な回収乾燥機はコスト低減に非常に寄与します。しかし、ご利用されている方から以下の問題をよく耳にします。

- ✓ 回収液の排出配管を直接ベースタンクに配管したところ、ゾールが白濁した。
- ✓ フィルターの寿命が短くなった。
- ✓ 乾燥機内の水分離機を清掃しているが、衣類にシワが多く生産量が上がらない。
- ✓ ベースタンクの底にサビが出てきた。
- ✓ 回収液を使い続けているとニオイが取れなくなった。

原因はすべて、「水分」にあります!!

蒸留後の回収液にはソープが含まれていない為、水分が小さな粒子となって必ず含まれています。

溶剤に含まれる水分が引き起こすデメリット



品質低下

- 表地及び裏地のシワが発生
- 縫製糸のヒキツレの発生
- 仕上げ品質の低下
- 生産量の落ち込み

フィルター

- フィルター表面の膨潤による圧(寿命)の促進
- フィルター内資材の能力低下

ソープ

- 水分除去の為にソープ濃度を上げることによる経費負担増

溶剤に含まれる水分の除去方法

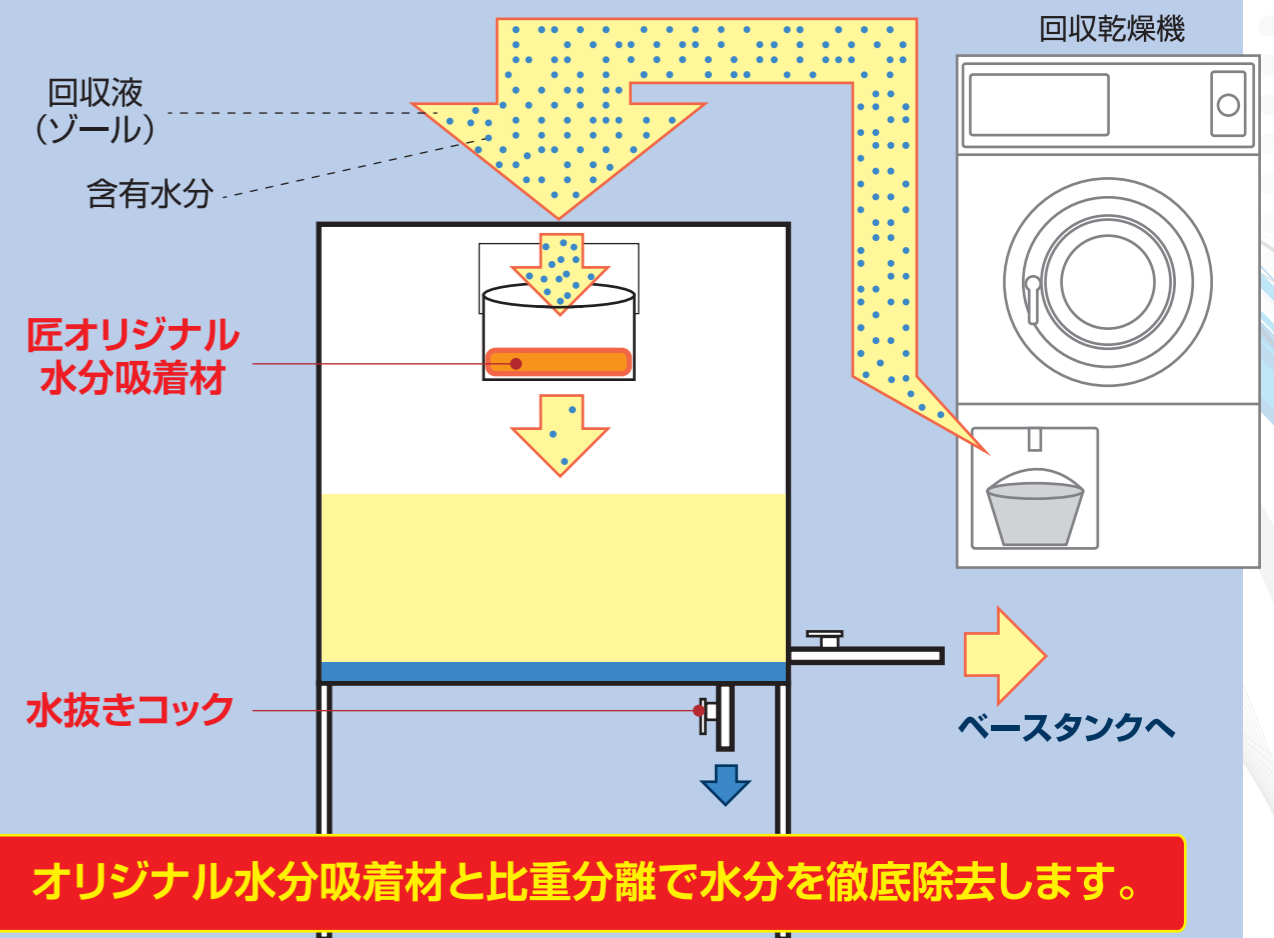


- 水分吸着材を利用する。
- 時間(3~4時間)をおいてゾールと水を『比重分離』させる。
- 冷却することでゾールと水を『分離』させる。

匠システムが誰でも簡単に管理できるオリジナル機器を作りました



匠システムオリジナル水分分離機<構図>



オリジナル水分吸着材と比重分離で水分を徹底除去します。